

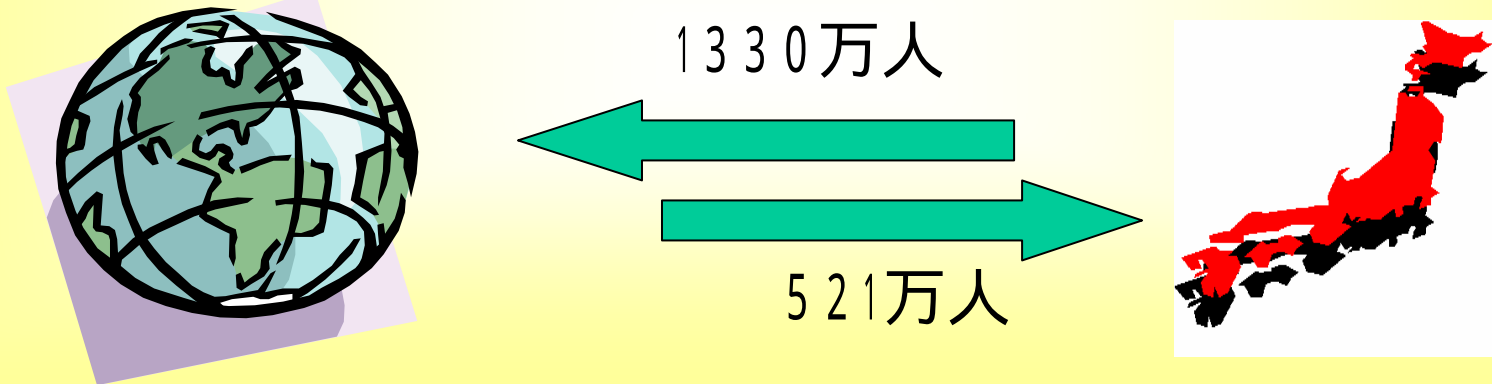
### 3．観光通訳ガイドの育成等の方策について

国 土 交 通 省 総 合 政 策 局

## 観光の現状と政策目標

### アンバランスな日本の国際観光交流

- ・ 訪日外国人旅行者数は、日本人海外旅行者数の約40%（2003年）
- ・ 国際旅行収支は、約230億ドル（約2.9兆円）の赤字（2002年）



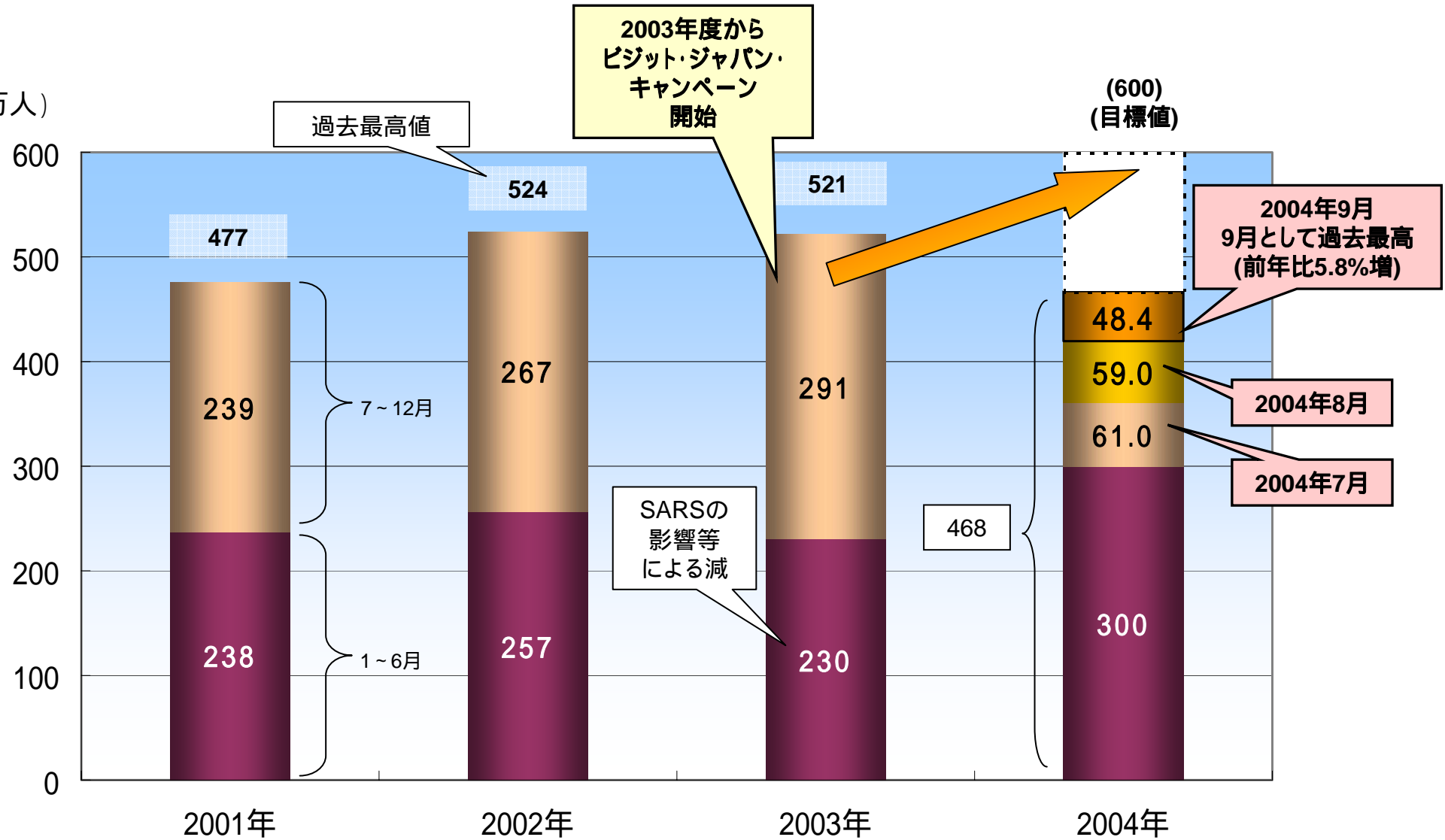
### < 目標 >

2010年までに訪日外国人旅行者数を1000万人にする  
（2003.1.小泉総理施政方針演説）

→ 2003年4月よりビジット・ジャパン・キャンペーンを展開

# 訪日外国人旅行者数の推移

(単位:万人)



注) 2004年1～7月の値は暫定値、8月・9月の値は推計値

# 観光立国の実現に向けた観光政策の強化・充実

ビジット・ジャパン・キャンペーン（VJC）の高度化により、戦略的な日本ブランドの発信を図る民間を主体とした観光地域振興組織が核となって進める国際競争力のある観光地づくりを支援

## ビジット・ジャパン・キャンペーンの高度化



海外メディアを活用したCM戦略等効果的な広報宣伝活動

上海2004  
日中文化  
観光交流展



日本ブランド  
の発信

韓国・中国等との  
連携強化



日韓共同訪問年広報大使  
木村佳乃さんとチェ・ジウさん

事業を客観評価し、  
効果の高い事業へ  
集中化・重点化

(例)  
・上海交流展における商談会を通じて、42社が448本の新たな訪日ツアーを造成。約1万人を集客予定。

(国際交流を加速させる動き)

- ・本年9月から中国訪日団体観光ビザの発給対象地域を拡大(2市1省1.1億人 3市5省3.7億人)
- ・「愛・地球博」開催期間の2005年3月から9月まで訪日韓国人観光客のビザ免除

## 国際競争力のある観光地づくり

### <現状>

- ・VJCの効果の受け皿としての魅力ある観光地づくりが求められている。
- ・各地の成功例を見ると、民間主導による創意工夫を活かした戦略的取組みが不可欠
- ・地域再生の観点からも観光地の活性化が重要

地方自治体が  
自ら行う取組み

- (例)
- ・道路案内標識の整備
  - ・景観法を活用した景観形成
  - ・無電柱化
  - ・街並みの整備 等

密接に連携

民間主体の観光地域  
振興組織の取組み

- (例)
- ・外国人旅行者対応事業
  - ・人材育成事業
  - ・案内所の整備 等

### 地域による国際競争力のある観光地づくり戦略の策定



国の法律・予算等により総合的に支援



観光案内所

# 通訳案内業制度

報酬を受けて、外国人に付き添い、外国語を用いて、旅行に関する案内をする業を営もうとする者は、国土交通大臣の行う試験に合格し、都道府県知事の免許を受ける。

(通訳案内業法第2条、第3条)

## <試験事務>

独立行政法人国際観光振興機構(JNTO)が試験事務を代行しており、毎年1回試験を実施。

## <試験科目>

外国語

(英語、フランス語、スペイン語、ドイツ語、中国語、イタリア語、ポルトガル語、ロシア語、朝鮮語)

日本地理

日本歴史

産業、経済、政治及び文化に関する一般常識

人物考査

## <試験日程・場所(平成16年度)>

第1次試験

日程場所: 9月5日(札幌市、仙台市、東京都、名古屋市、京都府、広島市、福岡市、那覇市)

科目: 外国語筆記、日本地理・日本歴史・産業、経済、政治及び文化に関する一般常識

合格発表: 11月5日

第2次試験

日程場所: 11月28日英語(東京都、京都府、福岡市)、12月5日英語以外(東京都)

科目: 外国語口述、人物考査

合格発表: 1月31日(官報公示)

# 通訳案内業の実態

## 1. 総数

通訳案内業免許保有者数：9,350人(累積延人数、平成16年4月1日現在)  
平成15年度通訳案内業試験合格者は、331人

## 2. 言語別状況

言語	業者数の全言語に占める人数・割合	免許保有者数1人に対する訪日外客数(平成15年実績)
英語	6,417人 (68.6%)	160人 (1,028,498人)
中国語	839人 (9.0%)	1,781人(1,494,375人)
朝鮮語	424人 (4.5%)	3,442人(1,459,333人)

## 3. 地域別状況

関東4都県(東京、神奈川、千葉、埼玉)で、全体の57.4%(5,371人)  
関東4都県に近畿3府県(大阪、京都、兵庫:1,784人)を加えると、全体の76.5%(7,155人)

## 4. 稼働実態

	会員数	年間受注件数(2003年)	旅行形態
(社)日本観光通訳協会 (JGA)	870名 (16.6)	164件(449日)	・目的地を限っての発着ツアーがほとんど。 ・数日間をスルーで案内する形は減少傾向。 ・アジアからの団体、企業インセンティブについてはスルーの形態がほとんど。
(協)全国通訳案内業者連盟 (JFG)	504名 (16.9)	319件(675日)	・発地から着地までスルーでつける形態、特定の目的地に限られる形態のいずれも多い。

<通訳費用> 1日:25,000円~35,000円、半日20,000円~25,000円  
その他交通費、宿泊費等の付加料金がかかる。

# 通訳案内業制度改革の全体像のイメージ

国(試験代行機関)の実施する資格試験

都道府県の実施する資格試験(新設)

試験の内容  
レベルを真に  
必要な知識・  
能力を問うも  
のに見直し

他の資格等の活用  
(TOEIC、英検等)

地域の外客  
誘致戦略に  
絡めた多様  
な試験

都道府県知事の免許制

有資格通訳  
ガイドの正確  
な実態把握

都道府県知事の登録制

地域限定  
なし

特定地域に  
限定

違法ガイド  
対策の強化

外国人旅行者のニーズに応じた有資格通訳ガイドの増加、料金・サービスの多様化

積極的な情  
報提供・PR、  
ガイド利用促  
進策の展開

観光案内所等を活  
用した紹介業務の  
充実

研修の実施、ガイド  
の格付け等、ガイド  
団体の役割強化

研修等による  
ガイドの知識・能力の維  
持・向上